

議題	資料名	委員名	ご意見内容
「独立行政法人会計基準」等の改訂について	資料 1-3 「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」(案)	大塚成男	関連会社株式の評価方法については、実態開示が必要であるという観点から、原案通り、投資先持分の増加額を貸借対照表に計上することに賛成します。減少額についても、部分時価評価法を用いることが適切であると考えます。 パブリックコメント及び意見照会後の修正点についても、賛成いたします。
「独立行政法人会計基準」等の改訂について	資料 1-2 独立行政法人会計基準の改訂について(案)	椎名弘	「連結財務諸表の作成の目的及び連結の範囲について、国際公会計基準も参考に見直すこととした。」について、業務一体性の観点の導入後に連結対象から除外される主体は、仮に国際公会計基準により連結財務諸表を作成したならば、重要性が乏しい場合を除き、被支配主体として引き続き連結すべきとの考えもあろうかと思えます。
「独立行政法人会計基準」等の改訂について	資料 1-5 独立行政法人に対する会計監査人の監査に係る報告書(案)	椎名弘	通則法第 39 条では、独立行政法人に対する会計監査人の監査は、事業報告書(会計に関する部分に限る。)も対象にしていますが、令和 2(2020)年 3 月 23 日に企業会計審議会監査部会が公表した「監査基準の改訂について(公開草案)」を踏まえ、事業報告書に対する手続の在り方について、当該改正への収斂を図るため、今後検討すべきではないかと考えます。
「独立行政法人会計基準」等の改訂について	資料 1-3 「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」(案)	富田俊基	特定関連会社とは意思決定機関を独立行政法人に支配され、業務一体性を有する会社等とあるが、特定関連会社の独立行政法人の中期計画における位置づけ、および主務省との関係等を、新会計基準の例えば 14 章、15 章などに記すべきではないか。
平成 30 年度「連結財務書類」等について	参考資料 2-1 平成 30 年度「国の財務書類」のポイント	鶴川正樹	連結財務書類の情報価値としては、連結全体の財務状況の説明とともに、連結の構成要素の財務状況の説明があります。構成要素としては、GPIF、かんぽ生命、郵政等が大きいです。その中で、GPIF は、独法会計基準により、運用資産の時価評価損益が収益として計上されており、それが連結上の財源として計上されるため、連結の財務業績の変動を大きくしています。資産運用の時価変動による評価損益は年金財政の実態を表すものとして有用であると言えます。しかしながら、国の財務状況にとっては、政府の持続可能性という評価が重要な視点であることから、資産の評価損益は、財源(収益)ではなく、むしろ純資産の変動項目(評価損益)として表示するほうが有用ではないかと考えます。『国の財務書類のポイント』においては、その点をよく配慮した記述になっていますが、今後の課題として、国の財務書類の会計処理として見直すことが必要ではないかと考えます。
平成 30 年度「連結財務書類」等について	参考資料 2-1 平成 30 年度「国の財務書類」のポイント	大塚成男	国の連結財務諸表について、原案通りの内容で公表することに賛成いたします。ただし、将来的には、国の財務書類と省庁別の財務書類の関係について、より細かな説明があった方がよいのではないかと考えます。省庁別の

			貸借対照表には負債が示されていない等の問題があるのは確かですが、コスト情報としては省庁別の情報が重要になるのでしょうか。省庁別の財務書類自体が分析の対象として重要であることをもう少し明確に示した方が良いように思われます。
平成30年度「連結財務書類」等について	参考資料2-4 個別事業のフルコスト情報の開示についての解説パンフレット	椎名弘	直接費と間接費、又は固有費と共通費という概念により、直接費のみならず間接費も考慮したのがフルコストである、又は固有費のみならず共通費も配賦したのがフルコストであると説明することが良いのではないかと思います。材料費・労務費・経費という形態別分類を持ち出して、それに例える方法では、事業費とフルコストの関係について、必ずしもうまく説明できないのではないかと考えます。
平成30年度「連結財務書類」等について	参考資料2-1 平成30年度「国の財務書類」のポイント	富田俊基	連結すると国からの運営費交付金と各独立行政法人の運営費交付金収益の項目は相殺消去され、活動の本質は見えやすくなる。29ページの連結業務費用計算書にある「運営費交付金」差額▲3兆円の記載は重要である。また、その上にある補助金等の▲2.9兆円も特殊会社等で費用化されているとみられる。次の機会でよいが、右の30ページに、こうしたコメントを入れてはどうか。
平成30年度「連結財務書類」等について	参考資料2-1 平成30年度「国の財務書類」のポイント	山内暁	今後の検討課題として、あげさせていただきます。個別と連結の数値の違いについて、細かく読み込めば理解できるようになっていますが、その要点を明確に示すために、個別と連結の数値の違いを総括として簡潔に示すような箇所があった方が良くもかもしれません。
平成30年度「連結財務書類」等について	参考資料2-4 個別事業のフルコスト情報の開示についての解説パンフレット	山内暁	今後の検討課題として、あげさせていただきます。事業の形態によって分析の視点も異なることが考えられるため、現時点で示されている指標以外の指標や読み方を幅広く検討し提案することで、さらなる利用促進に繋がるものと考えられます。